

抗血小板薬シロスタゾール 脳卒中の再発予防に有効



立川病院 篠原幸人院長

脳卒中の一つで、脳の血管が詰まり、その先の細胞が死んでしまう脳梗塞。いったん回復しても再発の恐れがあり、持病や生活習慣の管理とともに薬の服用も大事だ。血栓ができるのを防ぐ抗血小板薬で、脳梗塞再発の予防に最もよく使われるアスピリンに比べ、シロスタゾールという薬の脳卒中再発予防効果は高く、合併症である出血の頻度が低いとの結果が、日本人を対象にした大規模臨床試験で最近示され、注目されている。

(江頭建彦＝共同)

3分の1は再発患者なので、いかに再発を防ぐかも重要だ。こう話すのは、立川病院（東京）の院長で東海大名誉教授の篠原幸人さん。

「脳卒中に占める脳梗塞の割合は70〜75%。血管が破れて発症する脳出血の方が以前は多かったが、様相が変わってきた。脳梗塞で入院した人の約

「脳卒中に占める脳梗塞の割合は70〜75%。血管が破れて発症する脳出血の方が以前は多かったが、様相が変わってきた。脳梗塞で入院した人の約

三分の一は再発患者なので、いかに再発を防ぐかも重要だ。こう話すのは、立川病院（東京）の院長で東海大名誉教授の篠原幸人さん。

「脳卒中に占める脳梗塞の割合は70〜75%。血管が破れて発症する脳出血の方が以前は多かったが、様相が変わってきた。脳梗塞で入院した人の約

アスピリンより好結果

血管の壁修復・拡張作用も

控える、適度な運動、ストレスをためないといった生活を心掛ける必要がある。その上で予防薬の適切な使用が大切だとい

抗血小板薬は、血管の内側にコレステロールなどの塊がたまることで起こる「アテローム血栓性脳梗塞」や、1mm以下の細い脳血管が詰まる「ラクナ梗塞」の再発予防に

危険因子の管理	▶ 高血圧、糖尿病、脂質異常症などの治療
	▶ 喫煙、過度の飲酒を控える。適正な食生活
薬物療法	▶ アスピリン ▶ シロスタゾール
	▶ クロピドグレル ▶ チクロピジン
その他	▶ 頸動脈内膜はく離術、頸動脈ステント留置術など

控える、適度な運動、ストレスをためないといった生活を心掛ける必要がある。その上で予防薬の適切な使用が大切だとい

脳卒中の発症率などを調べた。結果は、このほど米国で開かれた国際脳卒中学会で発表された。

それによると、試験期間中に脳卒中を発症した人は、アスピリンを飲んだ人の1.19人にに対し、シロスタゾールでは82人。解析の結果、シロスタゾールは脳卒中の危険性がアスピリンよりも26%低かった。脳梗塞後の患者が起こしやすい心筋梗塞や心不全、狭心症などもシロスタゾールの症では少なく、さらに出血のリスクは54%低かった。

服用の中止例も

シロスタゾールには、血小板に働いて血栓をできにくくする以外にも、血管の壁を修復したり血管を広げたりする作用があると考えられている。「動脈硬化で血管の壁に傷があると血栓ができやすくなるが、壁の修復でこれを防げる。さらに、血管を広げ血流が速くなれば、血栓はできにくく、これらのいくつかの作用が相乗効果になっているのではないかと、篠原さん。

一方、頭痛や動悸などの副作用の頻度はシロスタゾールがアスピリンよりも高く、服用を中止しなければならぬ人もいた。血管を広げる作用が血管や心臓などの働きを活発にしたためではないかという。

篠原さんは「臨床試験では服用する量が初めから決まっていた。日常の診療では、少ない量から始めて適量を見つけていく方法などで副作用は減らせるだろう」と指摘。「現在飲んでいる薬が有効で、出血も副作用もないような人が変更を考えたという点で、これが高抗血小板薬の一つ増えたという点で、これは抗血小板薬を飲む人には大きな意義がある」としている。

けんこつ掲示板

- ◆悪性リンパ腫医療セミナー 5日午後15時、広島市南区の広島大広仁会館大ホール。同大原爆放射線医学研究所の坂井晃講師が「悪性リンパ腫とは」と題して話すほか、質疑応答などがある。会費千円。悪性リンパ腫患者会グループ・ネットワーク広島支部 ☎090(28669)7233 11中川さん。
- ◆歯並びと歯科矯正の相談会 6日午前10時〜午後4時、広島市中区の市健康科学館。矯正歯科医が歯並びの相談にのる。無料。市健康科学館 ☎082(246)9100
- ◆おうちの健康展 6日午前10時〜午後4時半、広島市中区のことろ広島本店本館屋上
- ◆潰瘍(かいよう)性大腸炎講演会 12日午後2時半〜4時、広島市の東区地域福祉センター。広島赤十字・原爆病院の国弘真己医師が「潰瘍性大腸炎患者の内科治療について」のテーマで話す。先着50人。無料。☎082(209)0291 11亀岡さん。
- ◆医療や介護、福祉に関する講演会や学習会などの情報をお寄せください。ファックス082(291)58288Vメール urashi@chugokunip.co.jp

患者のS

そのためのよりよいやり方を探り続けた結